

any

ars nova yamaguchi

vol. **47**

September-October 2004

Yamaguchi Culture Information

「エニー」

TOPICS

また一つ、 世界が 夢をみる

フリリップ・ジャンティ 新再来日公演「パニッシング・ポイント」

カメラ、現在・過去・未来

佐藤時啓「obscura machina 2004」

金森穰 in YCAM 新作「black ice」を語る

バロックの神髄を聴く レイチェル・ポッジャー

～バロック・ヴァイオリン・パースペクティヴ～

EVENT / MUSIC / PLAY / ART / MOVIE / OTHER

クリエイティブ・スペース赤れんが

「GOD BLESS ジャズコンサート」

絵画展「藤崎恒頼」展

中原中也記念館

企画展「文学サロンとしての酒場」

山口情報芸術センター

映画上映専門家養成講座「シネマ・マネジメント・ワークショップ」



また一つ、 世界が夢をみる

不気味でかわいい人形や、ダンス、マイム、マジックを駆使した作品で

幻想的な世界を創り出すフィリップ・ジャンティ・カンパニーが、

新作「バニシング・ポイント」を携え、

11回目の来日公演で、初めて山口に登場します。

ユーモアとエスプリ、そしてポエジーに溢れる舞台で

私たちを虜にしてきたジャンティ。

今回は、彼の舞台に魅了されたひとりで、

マイムとダンスを融合する独自のスタイルをもつ

パフォーマンスグループ「水と油」のメンバー、

「おのでらん」こと小野寺修二さんに、

ジャンティの奇妙だけどどこか懐かしく

愛しい世界について語っていただきました。





フィリップ・ジャンティ という分野

人はかく分野わけをしたがるものである。特にお金を出して劇場に足を運ぶ時、事前に「何系」の分野なのか知りたいのは当然だ。しかし、残念ながらフィリップ・ジャンティ・カンパニーは何系とも言うことは出来ない。仮に当てはまりそうな分野を羅列してみる。演劇、ダンス、マイム、サーカス、マジック、人形使い……。これらの全てなのである。あえて言えば「フィリップ・ジャンティ」という新たな分野なのだ。僕は未見の人に何とかその舞台を伝えようとするのだが、懸命に説明しても、言葉に置き換えたときその面白みは消えてしまう。世の中には言葉で説明できないことがたくさんあるのだ。そして言葉で説明できないことを表現することが、舞台の醍醐味である。

自分だけの秘密が 目の前に繰り広げられる

初めてフィリップ・ジャンティの舞台を見たのは1995年のことである。マイムを始めて1年余り。フランスから面白いカンパニーが来るという話を聞いて観に行ったら。ひとことで言って衝撃だった。気付いていないマイムの可能性がそこにはあった。無意識のうちに限界を感じていたその蓋が、わっと開いたような。なんと多くの制限を自分で決めてしまっていたのかと。観客の頭の中に風景が広がる。それは観ている人それぞれ違った風景だろう。断定されるのではなく好きに想像していいからだ。それは初めて観ているはずなのに自分の体験であるかのような感覚がある。忘れていた子供の頃の思い出や、いつか夢で見たイメージ、誰にも話したことのない自分だけの秘密が目の前に繰り広げられる。自分を脅かす影。自分の中の他者が具現化される。本当の敵は自分の中にいるのかもしれないと気付く。「人は人生という道を旅人として歩

「水と油」

1995年12月、おのでらん(小野寺修二)・じゅんじゅん(高橋淳)・ももこん(藤田桃子)の3人により結成。98年すがぼん(須賀令奈)が加わり、現在に至る。マイムを基盤としながらも、従来のマイム作品に飽き足らないものを感じ、既存のマイムのイメージから次第に離れてゆくようになる。一切のせりふを廃し、幻想的なシーンからシニカルな笑いをちりばめながら、日常生活の裏側へ観客を引き込むその作品は、国内だけでなく、海外でも高い評価を得ている。第2回朝日舞台芸術賞「山崎司賞」および「キリンダンスサポート」受賞。

TOPICS

き続けなくてはいけない。」普遍的なテーマをそこに見た。僕はその年の暮れに、その公演を一緒に見に行った人と「水と油」を結成した。

誰もが自分の物語だと 思ってみることができる

僕が哲学的なテーマをその舞台から感じたとしてもそれは決して堅苦しいものではない。彼らの舞台はフランスで子どもたちにも愛されている。(子どもでも理解できるという言い方は間違っていて、子どものほうが理解していることが往々にしてあるのだが。)それは彼らの舞台がその人それぞれの楽しみ方ができる良い例だと思う。また、こんな話もある。分野わけの話に戻して、世の中の舞台表現を大きく分けて演劇系、ダンス系と分けるとしよう。演劇の暑苦しさに辟易しダンス系にだけ足を運ぶ人。ダンスの意味のわからない一人よがり、もう二度と観にいかない決めている演劇ファン。そしてほとんどの人がここに当てはまると思うのだが、舞台自体をめぐって観にいかない人たち。フィリップ・ジャンティの舞台を、演劇系ダンス系どちらの観客も観に来るのは想像できることだが、おもしろいのは普段劇場に行かない人たちが多く観に来ている点である。人種、文化、年齢、性差、さまざまな壁は軽々と取り払われ、観客は自分を見つめるために劇場へ足を運ぶ。フィリップ・ジャンティの舞台は誰もが自分の物語だと思ってみることができるのだ。

フィリップ・ジャンティ・カンパニー 新作来日公演
「パニッシング・ポイント」

エニー会員
先行予約
9月18日

2004年11月20日(土) 19:00開演

21日(日) 14:00開演 ※各30分前開演

会場:山口情報芸術センター スタジオA

[チケット情報] エニー会員先行予約 9月18日(土)~
プレイガイド発売 9月25日(土)~

[料金] 全席指定(税込)

一般¥5,000 エニー会員等割引¥4,000

学生B席¥2,000 ※未就学児のご入場はお断りいたします。

[ローソンチケット] Lコード 65190

[託児] 有 ※詳細は巻末をご覧ください。

[問い合わせ] 山口情報芸術センター TEL.083-901-2222



PROFILE

おのでらん Onoderan

本名:小野寺修二「水と油」メンバー。北海道生まれ。数々の演劇活動を経て日本マイム研究所に入所。住々木博彦氏にマイムを師事する。在所中にはアジアマイムフェスティバルなどに参加。独自のマイムを目指し、じゅんじゅん・ももこんとともに「水と油」を結成。

カメラ、 現在・過去・未来



壁に空いた小さな穴から洩れてくる光線に、半透明のスクリーンをかざすと、不思議な光景が映り込んできます。YCAMのホワイエ大階段上に設置されている大きな部屋「obscura machina (オブスクラ・マキナ) 2004」、みなさんはもう体験済みですか？

meets
the
artist

アーティストを山口に招聘し、市民コラボレーターとともに1年をかけてアート活動を実践していくシリーズ「meets the artist」。第1弾の「カメラ・オブスクラ・プロジェクト」では、美術家、写真家の佐藤時啓(さとうときひろ)さんを中心に、「光とアート」をテーマとしたクリエイションを公開していきます。去る7月、「obscura machina 2004」の設置と、関連ワークショップ「かぶるカメラを作ろう」のために来館した佐藤さんにインタビューをお願いしました。

まずは、ワークショップを終えての感想をお聞かせください。



とにかく滑り出しました。(笑)ダンボールで「カメラ・オブスクラ」を自作する「かぶるカメラ」は、大人は大人なりに、子供は子供なりに楽しめるすごくシンプルな仕組みなんです。幸い今回は、すごく分かりやすい組立て方フリーペーパーを作ってもらったので、興味のある人は、自分でも作ってもらえたらいいと思います。

カメラ内部に起っていることの楽しさ

「カメラ・オブスクラ・プロジェクト」のコンセプトを教えてください。

今、カメラは日常的に溢れていますよね。カメラ付き携帯電話や道路にある監視カメラなど、要するにいろんなカメラがあって、写真を撮ること、記録されることが当たり前という状態なんですけれども、光が穴を通じて映像になるってすごくシンプルな仕組みは、逆にどっかに置き去られているようなところがあるんですよね。僕は、ずっと暗箱みたいな大型カメラで作品をつくっていて、ファインダーを覗くと、光のツブツブとした粒子が倒立した映像を形作っているのがいつも気になってたんです。その世界がものすごく美しく、それを単に写真に撮るだけでなく、色んな人に見せたい、それをインターフェイスとして多くの人や社会との様々な出会いを持つ可能性に求めたいなって思っちゃったわけですね。

実際に、どのように見せたいと思っておられるのですか。

町の中には、アートに興味が無い人もいっぱいいるわけですよね。でも、光の形づく映像というのは、そういう人でも楽しめる分かります。光の形づく映像というのは、そういう人でも楽しめる分かります。でも、光の形づく映像というのは、そういう人でも楽しめる分かります。でも、光の形づく映像というのは、そういう人でも楽しめる分かります。

「obscura machina 2004」を楽しむポイントを教えてください。

普段目に見える町が、この「オブスクラ・マキナ」の中でどう違って見えるのかを念頭において見てみるのも面白いかもしれませんね。実際、絵のように客観的に見える部分もあって、直接目を通して見たとは違う新鮮な映像体験ができると思いますから。

発展するプロジェクトへの期待

今回は、コラボレーターの方と一緒に

プロジェクトを進めていかれるということですね。

今まで学生としたことはありますが、市民の方と直接は初めてなんです。ですから、自分自身の作品をやっていくのとはちょっと違うわけです。あくまでも、コラボレーターの人、この山口の町というところで色々出会いがあって、相手の考えが出てきて、初めてやることが見えてくると思うので、そちらの方を僕個人は期待しているんです。やりたいことはあっても、自分の考えを押しつけるのではなくて、何かお互いに出し合えるものがないかなと楽しみにしています。今回はまず、カメラという原理的なものがある、その仕組みを使って、最終的に何かカタチになるものに皆で拡張していきたいと考えている段階なんです。

では、来年3月までのこのプロジェクトの予定を教えてください。



10月初旬に、「ワンダリング・カメラ」という自作の大きなカメラ装置(天井部に360°水平回転するレンズがあり周囲の風景を床に映し出す。車で牽引移動する。)を山口にもってきて、そのカメラで町を見て回ろうと考えています。その中で、参加してくれる人が増えてくるといいですね。カメラを通して世界というのは理屈抜きに美しい。この大きなカメラに入って、直接見ると、すごく面白い世界が広がっていることを体験してもらえると、すごく面白いです。それを使って何か発展できたらいいな。なかなかカメラの中には入れる機会はないですからね(笑)。

「ワンダリング・カメラ」は10月2日(土)の「アートふる山口」に登場予定。

※コラボレーター:2005年3月まで予定される「カメラ・オブスクラ・プロジェクト」で、佐藤さんと共に活動をおこなうボランティア組織のメンバー(市民公募参加)。プロジェクトの企画の立案、準備、運営、記録、教育普及協力など、多岐にわたる活動を行います。年齢層は10代~50代で、福岡や大阪からの参加者も含まれます。参加は随時募集しています。詳しいお問い合わせは、山口情報芸術センターまで。

山口情報芸術センター +
山口情報芸術センター市民委員会 共同プロデュース
佐藤時啓「obscura machina 2004」
—カメラの原理をたどる—そのルーツから表現の現在へ—

開催中~2004年10月24日(日)
会場:山口情報芸術センター ホワイエ2F
10:00~22:00 入場無料

EVENT

YCAMではこの秋、
メディアアーティスト藤幡正樹の
新作アートインスタレーション
「モレルのパノラマ」を開催します。
この作品は、パノラマ撮影及び投影装置を
用いて、見る人自身の映像を、パノラマの中に
独自の形に映し出すというものです。



アートインスタレーション 藤幡正樹「モレルのパノラマ」

2004年9月18日(土)～10月24日(日)
会場:山口情報芸術センター スタジオB
10:00～22:00 入場無料

パノラマとは、見る人をとりまく周囲全景の映像です。人が背後の風景を直接視ることができないように、それは人間にとって何らかの外部の映像テクノロジーを使って初めて知覚可能になる風景です。そのために美術史においても、パノラマはドーム型絵画から、写真、バーチャルリアリティにいたるまで、視覚表現のテクノロジーを駆使してさまざまな挑戦を繰り返してきました。今回の「モレルのパノラマ」では「全方位センサー」という最新の映像技術と独自のコンピュータプログラムを使って、ユニークな発想のパノラマ映像を作品の中に実現していきます。そこに映し出される映像は、他ならぬ視ている(私)がマッピングされた不思議な風景です。

見る(私)と、テクノロジーによって視られ(私)はがされる(私)という二重のリアリティ。これをパラレル・リアリティと呼べるかもしれません。パノラマの表象(表現)を通じて、私たちの視覚(感覚)と存在の関係はいかに変化してゆくのか。「モレルのパノラマ」は、実際に体験し、感じることで伝わる作品です。作品空間に入って、あなたの身体と感覚で、パノラマが生み出す不思議な空間と時間を、ぜひ体験してみてください。

*作品タイトルは、アルゼンチンの作家、アドルフ・ビョークサーレスが1940年に発表した驚異的なアイデアに充ちた小説「モレルの発明」(邦訳:清水徹訳/水声社刊)に出てくる、主人公モレル氏の名から採られています。

関連イベント

レクチャー「全方位カメラとパラレル・リアリティ」
2004年9月18日(土) 13:00～14:30
会場:山口情報芸術センター スタジオC
[講師] 藤幡正樹 [料金] 無料(先着80名)

藤幡正樹 Fujihata Masaki

1956年東京生まれ。慶應義塾大学環境情報学部助教授を経て、現在東京藝術大学先端芸術表現科教授。80年代よりコンピュータアニメーション、CGなどの作品をいち早く発表し、注目を集める。90年代以降は、インタラクティブなメディアテクノロジーの最先端に取り組みながら、それらを芸術表現へと模索・開拓し、独自のインターフェイスやプログラムを用いた作品を多数発表。つねにリアリティとコミュニケーションの関係を追求するプロジェクトを国内外で発表し、世界的な第1人者として活躍している。

sound tectonics #2/ライブコンサートシリーズ
KAZUHISA UCHIHASHI
TATSUYA YOSHIDA [RUINS]
+ ICHIRAKU YOSHIMITSU - DRUVIDEO

好評
発売中!

2004年9月26日(日) 19:30開場/20:00開演
山口情報芸術センター スタジオA

日本を代表するギタリストでありインプロバイザーでもある内橋和久と、伝説的ロックユニット「RUINS」の吉田達也の2人によるソロパフォーマンス+デュオライブ。またアジア、ヨーロッパ、日本を横断公演中の一楽儀光によるドラムソロとインタラクティブ映像作品「トラビデオ」(新作)をYCAMにて初公開します。音楽、アートの領域を軽々と横断する世界的アーティストたちの刺激的な夢の宴がここに実現!

[チケット情報] 発売中

[料金] 全席自由(税込)

前売 一般¥2,000/エニー会員¥1,700

当日 ¥2,500

[出演] 内橋和久、吉田達也、一楽儀光

[ローソンチケット] Lコード 65421

9月11日
発売!

sound tectonics #3/ライブコンサートシリーズ
yoshihiro hano & aoki takamasa

2004年10月16日(土) 19:30開場/20:00開演
山口情報芸術センター スタジオA

自身のCDレーベル「cirque」を主宰し、坂本龍一やビョークとの共演などワールドワイドな音楽活動を展開する半野喜弘と、話題となったラップトップミュージックユニット「silkom」を解散し、現在ソロアーティストとして活動中の青木孝允の2人が、徐々に日本でツアーを組み、山口に初登場。YCAMの最高の音響機材と映像設備を駆使し、メロウかつプリリアントな美しい電子音のカレイドスコープを繰り広げます。

[チケット情報] プレイガイド発売 9月11日(土)～

[料金] 全席自由(税込)

前売 一般¥1,500/エニー会員¥1,300

当日 ¥1,800

[出演] 半野喜弘、青木孝允

[ローソンチケット] Lコード 65422

今後のアートプロジェクト

■クワクポリョウタ展

2004年12月11日(土)～2005年2月6日(日) (予定)
文化庁メディア芸術祭インタラクティブアート部門で大賞を受賞(2004)、NHKBS「デジスタ」のキュレーターも務めるクワクポリョウタ。デジタルとアナログの境界線上で作品を制作し、プロダクトやオモチャ開発も手掛ける自称デバイス・アーティスト。そのクワクポの新しい方向性を提示するYCAMのための完全新作プロジェクトが出現。

■時間旅行展/シリーズ「科学とアートの対話」

2005年3月～6月(予定)
時計の告げる「時間」がすべての時間ではありません。歴史とともに変化する「時間」の概念や定義について、宇宙や地球、生命・物質・原子に宿る「時間」の存在について、多層的な「時間」のありさまを検証し、体験してみようというプロジェクト。昨年、日本科学未来館(東京)で開催された大きな話題となった展覧会をベースに、YCAMのオリジナルプランも加え、新しい形で公開となります。科学者・哲学者(山口大学時間学研究所)とアーティストとの(知と表現)のコラボレーション。

■いずれの公演も当日券は会員割引の対象外となります。

■いずれも公演のみ託見あり。詳細は巻末をご覧ください。 ■チケット予約電話/TEL.083-920-6111

■エニー会員等割引/エニー会員、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障害者及び同行の介護者1名が対象。詳細は巻末をご覧ください。

天 の 煙

公共ホール演劇制作ネットワーク事業 「天の煙」

エニー会員！
先行予約
9月26日

2004年11月27日(土) 19:00開演

※開演時間が変更になりましたのでご注意ください。

28日(日) 14:00開演

※各20分前開場

会場：山口情報芸術センター スタジオA

「天の煙」は、読売演劇大賞最優秀作品賞を初め数々の受賞歴に輝く、劇作家松田正隆、演出家平田オリザのコンビによる新作演劇公演で、関東から沖縄まで全国8カ所の公共ホールによるネットワークにより共同で制作されています。出演者は各地のオーディションにより1200名のなかから選ばれ、富山県利賀村での長期合宿稽古を経て、この秋、富士見市民文化会館☆キラリふじみを皮切りに、各地で公演が行われます。

物語は、西の果てにある場所が舞台。いつまでも光に照らされ、陽の沈まない「西の西町」。その旧家に父の死をきっかけに成長の止まった美しくも盲目の姉が住んでいた。母の葬儀をきっかけに、そのまま都会から移り住むことになってしまった妹夫婦、そして旧家の下女や彼らを取り巻く人々。崩れた教会の跡に集う人々をめぐって、ここから究極の物語がはじまります。

崩れた教会の跡、
天空にある鐘を鳴らす紐が一本、
この場所から、
世界の果てに住む人々の、
究極の物語が始まる。

[チケット情報] エニー会員先行予約 9月26日(日)～
プレイガイド発売 10月3日(日)～

[料金] 全席指定(税込)
一般¥3,500 エニー会員等割引¥3,000
学生B席¥2,000

[ローソンチケット] Lコード 64921

AYAモジュール1 パフォーマンス

好評
発売中!

2004年9月10日(金) 19:00開演/11日(土) 14:00開演 ※各30分前開場
会場：山口情報芸術センター スタジオA



「AYA モジュール1」は、観客がチャットによるコミュニケーションにより作品に参加することができるインタラクティブな公演です。デジタル・イメージによる映像とダンスが組み合わされた各シーンを自由に選択し、物語

を進行させます。海外で評価の高い日本のポップカルチャー、テレビゲームやアニメーションなどをモチーフにフランス人アーティスト、ケイコ・クールディとKIにより、新しいタイプのミクストメディア・パフォーマンスとして、今回日本にて初演されることになりました。

主人公・タオは、無重力空間宇宙ステーション「AYA」で試験的に誕生し、成長した10歳の少年です。彼は超能力を持つミュタントで、多発しているマインドハッキングから人の精神を守るプログラムに参加することになります... 俳優・ダンサーや観客の存在する現実世界とヴァーチャルな世界との臨界状態を、まずあなたの感覚で味わってみては。

[チケット情報] 発売中

[料金] 全席自由(税込)

一般¥3,000 エニー会員等割引/学生¥2,000

学生エニー会員¥1,500

[ローソンチケット] Lコード 64916

ケイコ・クールディ

フランス人アーティスト。8歳から演劇活動を開始。パリ第3大学にて演劇・映画修士課程を、東京大学大学院にて総合文化研究科超域文化科学専攻修士課程を修了。00年にKI(NPO/アソシエーション・ロフ1901)を設立。新しいテクノロジーの発達で、知覚にもたらす新しい可能性に興味を持ち、3D、ビデオプロジェクトやデジタル・メディアを使い、新しいパフォーマンスの演出活動を行う。現在、京都造形芸術大学芸術学部 映像・舞台芸術学科助教授 Mixed media担当。

KI

00年にケイコ・クールディによって設立されたカンパニー。演劇、ダンス、音楽、建築、ビデオ、3Dアニメーション、モーション・キャプチャー、インターネットの分野に興味のある、ヨーロッパや日本のアーティストやエンジニアらなる。

※この作品は今後内外で展開される5部編制「モジュールAYA」インスタレーション・パフォーマンスの第1部となります。

関連イベント

シンポジウム「日本とフランスにおけるミクストメディア・パフォーマンスについて」

2004年9月11日(土) 15:45開演(予定)

山口情報芸術センター スタジオA

※10日の半券をお持ちの方もご入場いただけます。

[モデレーター] 河原崎貴光

(京都造形芸術大学芸術学部 映像・舞台芸術学科助教授)

[スピーカー] フランク・ボジャール(フランス文化省)/

藤本隆行(ダムタイプ)/ケイコ・クールディ(KI代表)

マリー・ガイエ(アート・クリティック・KIコミュニケーションディレクター)

■いずれの公演も当日券は会員割引の対象外となります。

■特に記載のない場合は託児サービスあり。詳細は巻末をご覧ください。 ■チケット予約電話/TEL.083-920-6111

■エニー会員等割引/エニー会員、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障害者及び同行の介護者1名が対象。詳細は巻末をご覧ください。

■エニー会員のご招待枚数は、個人:1枚、ファミリー:登録人数分、学生:1枚、団体:10枚です。 ■学生B席は、高校・大学・専門学校生が対象です。

平田オリザ氏のコメント

「松田正隆の魅力は、その骨太の世界観にある。その世界観は、近年さらに研ぎ澄まされ、世界文学に伍するほどの、純度の高いものとなっている。私の仕事は、その珠玉のような戯曲を、丹念にときほぐし、時に力業で、舞台という形にしていこう。私はこの作品を創るために、1200人の俳優たちと会い、キャストイングを行った。松田正隆の世界観と、四つに組む準備はできている。」



松田正隆氏のコメント

「私の原風景はただよう。喪失感にさいなまれながら辺境をさまよい続ける。夕暮れの油まみれの港と鏡のような海、ほのかに灯のともる岬の家々。西の西の、そのまた西の果てを逃げ水のように路面にへばりついて、私のふるさはゆらゆら動いてゆく。けれど、ある日あるときを境にして、塞ぎとめられていた逃げ水の時間が壱を切って波のように押し寄せて来る。過去も未来もない死者たちの時間に溺れそうになる。そんな命がけの私の郷愁!」

関連イベント

エニー会員
ご招待!

平田オリザ講演会

2004年9月4日(土) 13:30開場/14:00開演

山口情報芸術センター スタジオA

「天の煙」の演出家である平田オリザ氏は、演劇に限らず市民社会における芸術のあり方について論証し、芸術文化行政について活発に発言する論客として知られています。日本人にとって今、いかに芸術が必要なのか。精神、経済再生、教育を通して多角的に語ります。

[チケット情報] 発売中

[料金] 全席自由(税込)

一般¥500 エニー会員ご招待(要予約)

[ローソンチケット] Lコード 64918

PROFILE

平田オリザ Hirata Oriza

1962年生まれ。劇作家・演出家。桜美林大学助教授、こまばアゴラ劇場支配人。劇団「青年団」を主宰し、「静かな演劇」の旗手として高い評価を得ている。著作も多く、中学校教科書「現代の国語」にも執筆。また、TVブロードキャスターのコメントーターなど多方面で活躍している。

松田正隆 Matsuda Masataka

長崎県出身。「坂の上の家」にてOMS戯曲賞、「海と日傘」にて岸田國士戯曲賞を受賞。03年11月上演の「舞臺」(主演/平田演)の作も手掛けている。近年は「マレビトの会」を立ち上げ、演出家としても活動の場を広げている。

好評
発売中!

H・アール・カオス新作ダンス 「白夜」公演

2004年10月23日(土) 19:00開演/24日(日) 14:00開演 ※各30分前開場

会場:山口情報芸術センター スタジオA



「草紙といふ神話」より PHOTO:小橋幸

「ブラボー!」、「Amazing!」幕が下りるやいなや、観客が総立ちになって拍手の嵐が巻き起こった。1989年に演出・振付家の大島早紀子とダンサー白河直子により設立されたダンスカンパニー「H・R・カオス」は、1997年、初めての長期海外ツアーとして北米8都市を訪れ、そのスケールの大ききからオールスタンディングの大絶賛を浴びました。トロント、モントリオール、ピッツバーグでは、その年に上演されたダンスの中で最優秀作品に選出され、ニューヨーク

公演の際にはニューヨークタイムズが見聞き写真入りで批評を掲載。続く、欧州ツアーや2000年の北米ツアー、この春のロシア東欧北欧ツアーでも同様に熱狂的な反応で迎えられています。独自の美意識と哲学に支えられた大島の空間感覚や衝撃的な天才ダンサー、白河の究極の身体造形が、今回の新作「白夜」公演でどのような華麗な世界を展開するのか、ご注目ください。

[チケット情報] 発売中

[料金] 全席指定(税込)

一般¥4,000 エニー会員等割引¥3,500

学生B席¥2,000

[構成・演出・振付] 大島早紀子

[出演] 白河直子 ほか

[ローソンチケット] Lコード 64919

国内の主な受賞歴

- 1993年 キリンコンテンポラリーアワード 優秀賞
- 1996年 第27回舞踊批評家協会賞新人賞、日本バレエ協会振付特別賞
- 1997年 村松賞
- 1998年 第29回舞踊批評家協会賞大賞
- 2000年 千年文化芸術祭 優秀作品賞
- 2002年 第1回朝日舞台芸術賞
- 2003年 第34回舞踊批評家協会賞大賞、第25回ニムラ舞踊賞
- 2004年 第54回芸術選奨文部科学大臣新人賞



白河直子
PHOTO:Inel



大島早紀子
PHOTO:Tadayuki Minamoto



金森 穂 in YCAM
新作「black ice」を語る

その場に居たからこそ感じられる
インパクトって絶対あると思うんです。

今年4月、新潟市民芸術文化会館「りゅーとびあ」の芸術監督（舞踊部門）に就任し、全国的に類をみない劇場専属のコンテンポラリー・ダンス・カンパニー「Noism04」(フェイスセロフォ)を立ち上げた気鋭の振付家、金森穂。彼の新作「black ice」の全国ツアーが、この秋いよいよスタートする。去る8月、本作を上演するにあたり、劇場下見のためにYCAMを訪れた金森さんにお話を伺いました。

今回、YCAMでの下見を終えてのご感想は？

一言に、すごいものをつくったなって感じですね。大きな図書館があって、夏休みだったからかもしれないのだけど、子供が結構出入りしている印象があって、いい意味で、公共の場所として生きている感じがする。(館内を)歩いていると、要所要所にインタラクティブな作品があるでしょう。ああいうのも子どもには嬉しいですね。で、同時にアーティストが滞在する空間じゃないですか。こんな子どものときに家のそばにあったら本当に幸せだろうなって思いますね。

次回作「black ice」についてお聞かせください。

「black ice」というのは、アスファルトの路面に出来る透明な氷のことで、下が透けて黒く見えることからそう呼ぶらしいですね。氷だから目には見えにくいけれども、車が通ればスリップして危ないように、何かが動き、行き交う上で必ず自分たちに影響を及ぼすものということです。要は、人間が視覚的に見て認識できるものが全てじゃない、でもそこには何かがあるかもしれないんだよね。見えているものが虚構であるということを示したときに、見えないものが現実味を帯びて本当に立ち現れてくるというアイロニー、その断層のすれすれのところを探りたい、言葉には出来ない何かを見つけないかと思っています。

今回は、各劇場に一定期間滞在して

製作されるそうですね。金森さんにとっての
作品と場所の関係性について教えてください。

つくり上げた作品が上演される劇場を取り囲むスペースだったり、枠組みだったり、劇場のツアーという点においてはその関係性を特に重視していますね。実際「black ice」ではその町に住む人がある形で関わって、そこでファンクセント入るようなものを考えていて、これが何なのかは未だ言えないんですけどね(笑)。一週間山口に滞在して、もしかしたらとんでもないものを見つけて、ツアーの流れで山口から増えた要素が出てくるかもしれない。滞在して活動を始めてみてからしか分からないフレキシビリティは持っているべきだと思うんです。そのように考えると、上演される“うつわ”というのはとても重要ですね。

最後に、読者の方、山口の皆さんへ

メッセージをお願いします。

ダンスを見たことがない人も沢山いると思います。ましてコンテンポラリーダンスっていうと凄く分かりづらいと思うかもしれないけれど、その場に居たからこそ感じられるインパクトって絶対あると思うんです。舞台もそれと同じで、一回も行ったことがないのに分かった気になるのは勿体ないことだし、折角山口にはこのような素晴らしい施設ができたのだから。それは僕の居るりゅーとびあも同じで、やっぱり行って見て初めて分かることも多い。だからまずは足を運んで、そこに居合わせてほしいと思います。

りゅーとびあレジデンシャル・ダンス・カンパニー
Noism04「black ice」

エニー会員！
先行予約
9月12日

2004年11月13日(土) 13:30開場/14:00開演 ※公演終了後アフタートークを行います。
会場：山口情報芸術センター スタジオA

本公演では、国内8ヶ所の各公立文化施設に滞在し、ステージの規模に合わせて、公演をベストな状態に仕上げていく。各劇場の持つ施設機能や特徴がいかに組み込まれ、表出されるのか。

6月のファースト公演「SHIKAKU」で膨張させた期待感に応えるべく始動する注目の第2弾。

【チケット情報】エニー会員先行予約 9月12日(日)～
プレイガイド発売 9月19日(日)～

【料金】全席指定(税込)
一般¥4,000 エニー会員等割引¥3,500
学生B席¥2,000 ※学生B席は、高校・大学・専門学校生が対象です。

【演出・振付】金森 穂

【美術・映像】高橋 格

【出演】Noism04

【ローソンチケット】Lコード 64920

■Noism04ダンスワークショップ

2004年11月9日(火) 山口情報芸術センター
ヒップホップクラス/14:00～ 講師：平原慎太郎
コンテンポラリークラス/19:00～ 講師：金森穂 共に約2時間
※コンテンポラリークラスはダンス経験者のみ

【定員】各20名(応募者多数の場合は抽選) [参加費] ¥500
【申し込み】葉書、FAX、e-mailにて、住所、氏名、年齢、電話番号・e-mail等連絡先、ダンス経験をご記入の上、山口情報芸術センターまでお申し込みください。※10月31日(日)必着

EVENT



エニー会員！
先行予約！
9月18日

チェンバロ連続コンサート⑬

レイチェル・ポツジャー

～バロック・ヴァイオリン・パースペクティヴ～

2004年11月14日(日) 18:00開場/18:30開演

会場:山口南総合センターホール

[チケット情報] エニー会員先行予約 9月18日(土)～
プレイガイド発売 9月25日(土)～

[料金] 全席指定(税込) ※未就学児のご来場はご遠慮ください。

前売 一般¥4,000 エニー会員¥3,000

[出演] レイチェル・ポツジャー(バロック・ヴァイオリン)
ゲイリー・クーバー(チェンバロ)

[曲目] ※変更となる場合がございますのでご了承ください。

J・S・バッハ ヴァイオリン・ソナタ第1番 口短調 BWV1014

ヴァイオリン・ソナタ第2番 イ長調 BWV1015

ヴァイオリン・ソナタ第3番 水長調 BWV1016

※現在、出演者と詳細について交渉中のため、日程・開演時間等変更になる場合がありますので、ご了承ください。詳しくはお問い合わせください。

神髄を聴く バロツクの

躍動感に満ちた表現力と並外れた技巧で、バロック・ヴァイオリン界のみならず、古楽界にも革命をもたらした名手、レイチェル・ポツジャー。彼女の待ちに待ったソロ・コンサート山口公演が急速決定しました！1999年よりリリースが始まったソロ作品集CDでは、仏ディアパソン賞受賞、BBCミュージックマガジン年間トップ20に入るなど世界中で絶賛を博したポツジャー。今回は、ヨーロッパ・アメリカを中心に活躍する俊秀のチェンバリスト、ゲイリー・クーバー氏とともに来山。いかなる音の飛翔を楽しませてくれるのか、夢幻自在な表現力に注目と期待が高まります。

10月9日
発売!

野入志津子山口演奏会実行委員会共催
野入志津子(リュート)新CDリリース記念コンサート
ジョバンニ・ツァンボーニ「リュート曲集」(ルッカ 1718年)

2004年12月14日(火) 18:30開場/19:00開演

会場:クリエイティブ・スペース赤れんが



イムジチ合奏団やルネ・ヤコブスとの共演等、世界的な活動を続けている野入志津子(のいりしづこ)のコンサート・ツアー。

ジョバンニ・ツァンボーニが、1718年にルッカで出版したリュート作品集は、甘いメロディーと煌びやかな装飾が施された、極めて優れた対

位法的な作品と称賛されました。

このコンサートでは、ツァンボーニの作品を通して、ルネサンスからバロック時代にかけて「楽器の女王」と呼ばれるほどに広く愛されたリュートの音色とイタリア・バロック音楽の円熟の粋をお楽しみいただけます。

[チケット情報] プレイガイド発売 10月9日(土)～

[料金] 全席自由(税込)

前売 一般¥3,000 エニー会員¥2,500
(当日券は¥500高)

[出演] 野入志津子(アーチリュート)

[曲目] ソナタ第1番ト長調/シャコンヌ Ⅱ

[ローソンチケット] Lコード 65423

[託児] 無

好評
発売中!

宝塚歌劇宙組山口公演 宝塚グランドロマン
風と共に去りぬ GONE WITH THE WIND
Based upon the Novel by Margaret Mitchell

[原作] マーガレット・ミッチェル

[脚本・演出] 植田紳爾 [演出] 谷正純

2004年10月29日(金) 昼の部13:30開演/夜の部17:30開演

会場:山口市民会館 大ホール

[チケット情報] 発売中

[料金] 全席指定(税込)

前売 一般¥6,500 エニー会員¥6,000

当日券¥6,500(当日空席がある場合のみ発売)

[出演] 宙組:和央ようか、花總まり 専科:初風緑

[ローソンチケット] Lコード 64958

山口市文化振興財団ホームページ 9月オープン!

<http://www.ycfcp.or.jp>

より多くの皆様にご利用いただけるよう、このたび山口市文化振興財団ではホームページを開設いたします。当財団に所属する各施設や、当財団が主催・共催する公演の内容およびチケット情報などをご紹介していきます。開設後は、公演によってホームページから直接チケットを予約できる期間限定「web先行予約」も開始する予定です。皆様からのアクセスをお待ちしております。

[問い合わせ] 山口市文化振興財団

TEL.083-901-2222 e-mail: zaidan-info@ycfcp.or.jp

■いずれの公演も当日券は会員割引の対象外となります。

■特に記載のない場合は託児サービスあり。詳細は券末をご覧ください。 ■チケット予約電話/TEL.083-920-6111

■many会員先行予約期間中の予約可能枚数は、個人:2枚、ファミリー:登録人数分、学生:1枚、団体:10枚です。財団友の会any会員の同時入会もできます。

■エニー会員先行予約で完売の場合はプレイガイド発売はありません。

MUSIC PLAY

コンサート・ライブ

会場	月/日(曜日)
クリエイティブ・スペース赤れんが 山口市中河原町5-12 ☎083-928-6666	9/ 11(土)
山口市民会館 山口市中央2-5-1 ☎083-923-1000	大ホール 9/ 18(土)
	9/ 25(土)
	10/ 11(月)
	10/ 17(日)
	10/ 26(火)
ニューメディアプラザ山口 山口市熊野町1-10 ☎083-921-1125	9/ 5(日)
	10/ 17(日)
	10/ 30(土)
維新百年記念公園 山口市吉敷3995-1 ☎083-922-2754	9/ 5(日)
	9/ 26(日)
	10/ 30(土)
山水園 山口市緑町4-60 ☎083-922-0560	9/28(火)・29(水)
Cafe de DADA 山口市湯田温泉駅前 ☎083-925-6843	9/ 14(火)
	9/ 15(水)
	9/ 18(土)
	9/ 24(金)
	9/ 30(木)
	10/ 11(月)
	10/ 19(火)

PICK
UP!



劇団鳥獣戯画 「三人でシェイクスピア」

作:Jess Winfield/Adam Long/Daniel Singer
訳:小田島雄志/長谷川仰子
演出:知念正文

2004年10月1日(金) 19:00開演
会場:山口県教育会館ホール

ロンドンで、メキシコで、ブロードウェイで、世界中で突発ヒット中の超おもしろ話題作がついに日本上陸!! たった3人でシェイクスピアの全37作品を演じきる「三人でシェイクスピア」は、劇団鳥獣戯画ならではのウィットとパロディとスピード溢れる舞台で、観客を笑いの渦に巻き込みます。シェイクスピアをよく知っている人も初めての人も、涙を流すほど笑い転げてしまう抱腹絶倒まちがいのこの舞台、観ればあなたの人生は変わります!!

[料金] 一般 ¥3,000 (4才以上)
[出演] 劇団鳥獣戯画
(赤星昇一郎/ちねんまさふみ/石丸有里子)
[託児] 有 ※要申込
[問い合わせ] NPO法人こどもステーション山口
TEL.083-925-1486

演劇・舞踊

会場	月/日(曜日)
山口情報芸術センター 山口市中国町7-7 ☎083-901-2222 http://www.ycam.jp/	スタジオA 9/10(金)・11(土)
	10/23(土)・24(日)
山口市民会館 山口市中央2-5-1 ☎083-923-1000	大ホール 10/ 18(月)
	10/ 29(金)
山口県教育会館 山口市大手町2-18 ☎083-922-5766	10/ 1(金)
	10/ 2(土)
山口大学学生会館 山口市吉田1677-1	9/ 5(日)

催物名	時間	入場料(円)	問い合わせ
GOD BLESSジャズコンサート	19:00～21:00	1000	クリエイティブ・スペース赤れんが ☎083-928-6666
THE HIGH-LOWS The★MUSTANG 04-05	18:00～	4600	ユニオン音楽事務所 ☎082-247-6111
伊藤多喜雄&TAKIO BAND	18:30～	4700	MIN-ON ☎083-928-0732
第13回大内中学校吹奏楽部演奏会	13:30～	300 小学生以下無料	山口市立大内中学校吹奏楽部(原田) ☎083-927-3697
平川中学校吹奏楽部第13回演奏会	14:30～16:00	300	山口市立平川中学校(前原) ☎083-924-7700
第15回日本フィルハーモニー交響楽団山口定期演奏会	18:30～	S6500 A5500 学生3000(自由席)	TYSテレビ山口企画推進部 ☎083-923-3200
山口室内オペラ工房第6回公演「道化師たちの懺悔」	14:00～16:00	一般1000 小中高生無料(要整理券)	山口室内オペラ工房(浜田) ☎083-923-8923
～片山富子 シャンソンコンサート～	14:30～16:30	2500	片山 ☎072-681-0564 ☎083-924-0467(夜のみ)
ふだん着のオペラ	14:00～16:00	大人1500 高校生以下500	山口大学教育学部(西村) ☎083-933-5363
ブーツメッツ定期演奏会	15:00～17:00	無料	山口県施設管理財団 ☎083-922-2707
山口県交響楽団定期演奏会	11:00～12:00	無料	
大蔵・吉敷ふれあいコンサート	14:00～16:30	無料	
MOON ON THE SANSUIEN III 山水園観月会	18:30～(各日)	4000 (特製弁当付 定員200名)	小澤由己子 ☎090-8244-9386
野狐禅 vs 中川五郎	19:00～	2500	ラグタイム ☎083-925-6843
知久寿焼	19:30～	3000	
シバ	19:30～	2500	
ケニー井上&HAWAII BAND	19:30～	3000	
よしだよしことべすば	19:30～	2000	
服田洋一郎&森永正志	19:30～	3000	
加奈崎芳太郎	19:30～	2500	

掲載内容は8月1日現在のものです。変更の場合がありますので、ご了承ください。入場料は前売り価格(税込)です。当日は料金が異なる場合がありますので、ご確認ください。

催物名	時間	入場料(円)	問い合わせ
パフォーマンス「AYAモジュール1」 ※11日は終演後にシンポジウムを開催(10日の半席でも入場可)	19:00～(10日) 14:00～(11日)	一般3000 学生2000	山口情報芸術センター ☎083-901-2222
H・アール・カオス新作ダンス「白夜」公演	19:00～(23日) 14:00～(24日)	一般4000 学生B席2000	
劇団前進座「銃口」山口公演	18:30～	4000	劇団前進座「銃口」を観る山口の会(船着) ☎083-922-0766
宝塚歌劇宙組公演 宝塚グランドロマン「風と共に去りぬ」	①13:30～ ②17:30～	6500	(財)山口市文化振興財団 ☎083-920-6111
劇団鳥獣戯画「三人でシェイクスピア」	19:00～20:40	3000	NPO法人こどもステーション山口(臼井) ☎083-925-1486
劇団鳥獣戯画「なにで遊ぶ?～谷内六郎の世界～」	①14:00～15:15 ②18:30～19:45	2500	
突劇!?喜劇病棟第3回公演 「離婚届」-Re コント溜け-	19:00～	後払いカンパ制	突劇!?喜劇病棟(人見) ☎090-7502-3124 http://www.c-able.ne.jp/~yana8787/kgike/

掲載内容は8月1日現在のものです。変更の場合がありますので、ご了承ください。入場料は前売り価格(税込)です。当日は料金が異なる場合がありますので、ご確認ください。

オススメ情報

INFORMATION

「角島Jammin」 日本海に囲まれた美しい角島を舞台にした2泊3日の野外ライブイベント。9/18(18:30～19:30)出演の「SOFT」は、轟音状態の静謐、高速のスローモーションといった独特の「動き」の感性と、せめぎ合う音のスパークする地点を目指してそこからゆっくり凝縮していく様が魅力的なバンドです。ゲストとしてギター・バンド、ワタナベマモル、kai+DUB MARRONICSほか、出演予定。山口県が誇る景観(北長門国定公園内)のなかでのライブ&キャンプをどうぞお楽しみください。
[日時]2004年9月18日(土)～20日(月・祝) 12:00～22:00 [会場]つしま大浜キャンプ場野外ステージ(山口県豊浦郡豊北町角島)
[料金]前売¥1,800(2日通し券)/当日¥2,500 [チケット&問い合わせ] Saudade Life TEL.083-932-2321/e-mail:mashi@saudadelife.com

オススメ情報

INFORMATION

「ちくは」ダンス・パフォーマンス「かつおのえぼし」 山口情報芸術センター(YCAM)で今年3月に行われた市民参加ダンス公演「ら抜き」の出演者と、7月に開催された「Refined Colors」ワークショップの参加者が再び集まり、新しくダンスグループ「ちくは」を結成。このたび記念すべき初の自主制作作品「かつおのえぼし」がYCAMにて公開されます。館内のあちこちで同時多発的におこなわれる、ちょっぴり変で、でもどこかかわいい?ダンス・パフォーマンスをどうぞお楽しみに! [日時]2004年9月18日(土) 15:00～15:30/17:00～17:30 [会場]山口情報芸術センター 中庭、ホワイエ、廊下ほか [料金]無料 [問い合わせ]山口情報芸術センター TEL.083-901-2222

会場

山口情報芸術センター

山口市中園町7-7 ☎083-901-2222
http://www.ycam.jp/
i-mode site http://mobile.ycam.jp

時 10:00～22:00
休 火曜日(祝日の場合はその翌日)
料 無料

クリエイティブ・スペース赤れんが

山口市中河原町5-12
☎083-928-6666

時 9:00～22:00
(催しにより異なります。詳細はお問い合わせください。)
休 月曜日(祝日の場合はその翌日)

山口市民会館

山口市中央2-5-1
☎083-923-1000

時 9:00～22:00
(催しにより異なります。詳細はお問い合わせください。)

中原中也記念館

山口市湯田温泉1-11-21
☎083-932-6430

時 9:00～18:00(入館17:30まで)
休 月曜日(祝日の場合はその翌日)・毎月最終火曜日
料 大人310円・大学生210円・小中高生150円(税込)
団体割引有

山口県立美術館

山口市亀山町3-1
☎083-925-7788
http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/kenbi

時 9:00～17:00(入館16:30まで)
休 月曜日
(但し、9/20、10/11は開館、
9/21、10/12は閉館)
料 ○第8回やまぐち県民文化祭
第58回山口県美術展覧会
一般250円・学生200円・◎
○常設展
一般190円・学生120円・◎

特別展

常設展

山口県立山口図書館

山口市後河原150-1
☎083-924-2111
http://www.library.pref.yamaguchi.lg.jp/

時 火～金 9:00～19:00
(子ども資料室・音楽資料室は17:00まで)
土・日 9:00～17:00
休 月曜日・祝日・月末整理日・年末年始・
春、秋資料点検期間

山口県立山口博物館

山口市春日町8-2
☎083-922-0294
http://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/

時 9:00～16:30(入館16:00まで)
休 月曜日・祝日
料 ○テーマ展「きのこの世界」
大人130円・学生80円・文
○企画展「サイエンスやまぐち2004」
大人300円・学生100円・◎
(教室・講座等については、
直接お問い合わせください。)

ニューメディアプラザ山口

山口市熊野町1-10 ☎083-921-1125

小郡町文化資料館

吉敷郡小郡町下郷609-3
☎083-973-7071

時 9:00～16:30
休 月曜日・祝日

山口中央郵便局

山口市中央1-1-1
☎083-922-0150

時 9:00～19:00(平日)、9:00～17:00(土)、
9:00～12:30(日)
(催しにより異なります。詳細はお問い合わせください。)

サンフレッシュ山口

山口市湯田温泉5-5-22
☎083-933-0001

時 9:00～22:00
休 月曜日

電遊館～エネルギー～

山口市中央2-3-1
☎083-925-5799
http://www.energia.co.jp/

時 9:00～17:00
(催しにより異なります。詳細はお問い合わせください。)
休 月曜日

FRANK

山口市道場門前2-4-19 ☎083-932-4836



山口県立美術館 第58回山口県美術展覧会

■ギャラリーツアー

2004年9月11日(土) 14:00～15:00
県美展審査員の元永定正先生が、自らのユニークな芸術論を交えながら県美展の出品作品を紹介いたします。

[申し込み] 不要 ※館内入場の際、県美展のチケットが必要。

■こどものためのワークショップ

「むちゃくちゃ絵描き」

2004年9月12日(日) 14:00～15:00
元永定正先生の指揮のもと、床に敷きつめた紙に子どもたちが自由に絵を描きます。真っ白い部屋が絵の具でぐちゃぐちゃにこんな刺激的な体験はめったにできないかも!

[定員] 4歳以上のこども30人+保護者(先着順)
[申込方法] 氏名・年齢・住所・電話番号を記入した往復はがき、またはe-mailで下記宛先まで。
〒753-0089 山口市亀山町3-1
山口県立美術館「元永定正ワークショップ」係
e-mail:a50702@pref.yamaguchi.lg.jp
[問い合わせ] 山口県立美術館
TEL.083-925-7788



松本晃弘写真展

開催中～2004年9月24日(金)

会場:臨時ギャラリー(山口市平井605-3)
10:00～21:00

写真という単位がどのように視野を定着できるのか、身近な風景に対して作者が続けている、そのころの近況です。大全紙10数点と過去作品ファイル小全紙約50点いずれもモノクロプリントによるものです。

[問い合わせ]
松本晃弘 TEL.083-928-2304

9月		10月	
開催中 テイラー・デュブリー + クリストファー・ウィリッツ「LISTENING GARDEN」	30		
開催中 佐藤時啓「obscura machina 2004」		24	
	18		24
	藤幡正樹アートインスタレーション「モレルのパノラマ」		
3 5 平成16年度よみうりKRY文化センター山口受講生文化祭 ☑よみうりKRY文化センター山口/083-923-5566	25	11	20 24
9 11 第10回グループQ展 ☑グループQ(高木)/0835-25-9114	第47回山口市美術展覧会 ☑山口市文化振興課/083-934-2718		藤崎恒頼展 ☑クリエイティブ・スペース赤れんが 083-928-6666
	25 27 第46回書といけ花展 ☑山口書道協会(党瀬) 083-924-3367	9 10 MOA美術館山口児童作品展 ☑MOA美術館山口児童作品展 実行委員会(直村)/083-922-6553	22 24 ガス展 ☑山口合同ガス(株) 山口支店(山本) 083-922-7500
開催中 宮沢賢治と中原中也		11	14 1/23
		文学サロンとしての酒場	
	9	26	
	第8回やまぐち県民文化祭 第58回山口県美術展覧会 (9/11 ギャラリーツアー、9/12 ワークショップ開催。詳細は「PICK UP」をご覧ください。)		
開催中 小さい彫刻たち、中本達也、絵巻の楽しみ、東松照明	26	28	1/30
		古森の世界	
		28	31
		現代のやきもの	
開催中 子ども資料室 教科書に出てくる子どもの本一物語ー	29	1	11/28
1	29	1	11/28
国際コメ年		比べてみよう原書と翻訳絵本	
3	26	14	29 11/23
テーマ展「きのこの世界」		部分日食を見る会	企画展「サイエンスやまぐち2004」
5	12	26	29 31
植物教室第2回 「講演 きのこの世界」	植物教室第3回 「きのこの写真教室」	アストロトーク(天文講演会) 「謎の天体—ブラックホールってなに?」	天王星と海王星を見る会
		10	31
		地質めぐり第2回	文化財講座「厚東の文化財を訪ねる」
7		3	5 31
湯野法然「やすらぎと書」展		写真クラブ「春秋」写真展	
	25 30	2 7	16 24
	文化協会美術展 「おごおり美術展」(前期) ☑厚田/083-972-0157	文化協会美術展 「おごおり美術展」(後期) ☑厚田/083-972-0157	小郡町文化資料館開館10周年記念 特別展「有馬白匠要治」木彫刻作品展 ☑小郡町文化資料館/083-973-7071
開催中 3	21	30	20 11/4
優しさを送ろう絵手紙展	ラポ国際交流写真展		和紙ちぎり絵作品展
7	17	4	15
第7回筆の里「ありがとうのちょっと大きな絵てがみ大賞」展		押花絵展	
1		1	31
ちぎり絵		写真 ふるさと近郷の四季	
2 5	25 26	2 7	15 17
陶芸同好会 習作展 ☑陶芸同好会(石川)/ 083-923-2703	小品盆栽と山野草展 ☑山口盆栽同好会・小品盆栽愛好会・ 山口花ノ会(岩本)/083-924-3166	公開講座 陶芸作品展 ☑山口芸術短期大学(高) 083-972-2880	パッチワークキルト展 ☑中本/083-922-7828
	15 19	29 30	20 24
玄游会 山口支部 游の会 書道展 ☑書道研究「玄游会」(斎藤) 083-927-3874	山野草展 ☑山口山草会(福島) 083-922-4768	8 13 受信環境クリーン 回案コンクール作品展示 ☑中国受信環境クリーン協議会 山口県連絡会(西田)/083-921-3718	布花&染物作品展(本光寿子/角屋敏行) ☑角屋/083-922-2773
	15	27	31
	赤池尚範 写真作品展「新しい日々へ」		こっとな人形展 ☑手創り工房「木崎結華」(福田) 090-3878-0976 ※会期中人形づくりの講座あり

【略号一覧】 ☑:開館時間、☒:休館日、☒:入館料、☑:問い合わせ先、Ⓜ:18歳以下、70歳以上の方および高等学校・盲・聾・養護学校に在学の方は無料。
入場料は前売り価格です。当日は料金が異なる場合がありますので、ご確認ください。

MOVIE OTHER



わらびのころ 「藤野行」映画上映+講演会

2004年10月10日(日)・11日(月・祝)

※上映開始時間はお問い合わせください。

会場:山口情報芸術センター スタジオA

「伊豆の踊り子」や「四万十川」で知られる恩地日出夫監督が足かけ8年の歳月をかけた渾身の作品。日本の原風景を美しく描き芸術的に高く評価されています。原作者で芥川賞作家の村田喜代子さんをお迎えし、映画の上映と講演会を開催します。

[料金] 前売 一般・大学生 ¥1,200
エニー会員・シネクラブ会員 ¥1,000
当日 一般・大学生 ¥1,500
高校生以下 ¥800 (当日券のみ)

[出演] 市原悦子 / 清水美那 / 石橋蓮司

■講演会 10月10日(日) 13:20~14:00

[講師] 村田喜代子(「藤野行」原作者)

[問い合わせ]

山口情報芸術センター TEL.083-901-2222

西京シネクラブ TEL.083-928-2688

山口情報芸術センター開館1周年記念 NHK衛星放送番組公開録画 「デジタル・スタジアム」 「BSマンガ夜話」

2004年11月5日(金)・6日(土)

会場:山口情報芸術センター スタジオA

■「デジタル・スタジアム」11月5日(金) 18:30~

[出演] 中谷日出 / 相沢礼子(司会)

中島信也(ゲスト)ほか

■「BSマンガ夜話」11月6日(土) 16:00~

[テーマ] 未定

[出演] 大月隆寛 / 笹峯あい(司会)

いしかわじゅん / 岡田斗司夫 / 夏目房之介

[観覧申込方法]

官製往復はがき(各番組につき1名1枚までの往復裏面に、郵便番号・住所・名前・電話番号・観覧希望番組名を、返信表面に、郵便番号・住所・名前を書いて下記宛先までお申し込みください。※応募多数の場合は抽選となります。〒753-8650 山口市亀山町2-1山口市文化振興課内「デジスタ」係または「マンガ夜話」係

[締め切り] 2004年10月6日(水) 必着

[問い合わせ]

山口市文化振興課 TEL.083-934-2718

NHK山口放送局 TEL.083-921-3733

<http://www.nhk.or.jp/yamaguchi/>

映画

会場	席数・他
山口情報芸術センター 山口市中国町7-7 ☎083-901-2222	スタジオC 「コミュニティシネマ山口」
山口市立図書館 山口市中国町7-7 ☎083-901-1040	「図書館ビデオ上映会」
	※10/10-11の「藤野行」はスタジオA 「こどもえいが会」
山口スカラ座 山口市泉都町1154 ☎083-922-2113 http://www.ishop.ne.jp/scala/ 年中無休	スクリーン1(205席) スクリーン2(130席) スクリーン3(130席) スクリーン4(130席)

ワーナー・マイカル・シネマズ防府 防府市中央町1-3 ☎0835-22-9066 http://www.warnermycal.com/ http://www.warnermycal.com/i/ 年中無休	スクリーン1(203席) スクリーン2(203席) スクリーン3(161席) スクリーン4(134席) スクリーン5(309席) スクリーン6(417席) スクリーン7(251席)
--	--

ばるるプラザ山口 山口市惣太夫町1-15 ☎083-934-3333	シネシアター(1F) 多目的ホール(4F)
--	--------------------------

山口県教育会館 山口市大手町2-18 ☎083-922-5766

講演・その他

会場	月/日(曜日)
山口情報芸術センター 山口市中国町7-7 ☎083-901-2222 http://www.ycam.jp/	スタジオA 9/ 4(土)
	10/ 2(土)
	10/ 10(日)
	スタジオC 9/ 18(土)
	9/24(金)~26(日)
	10/ 2(土)・3(日)
10/ 9(土)	
山口市民会館 山口市中央2-5-1 ☎083-923-1000	大ホール 9/ 10(金)
	10/ 2(土)
山口県教育会館 山口市大手町2-18 ☎083-922-5766	10/ 16(土)
秋穂町大海総合センター 吉敷郡秋穂町東1130-5 ☎083-984-2053	9/ 11(土)

9月		10月	
3 5 「大脱走」	17 19 20 「切腹」	8 10 11 「アマテウス(ディレクターズカット版)」	15 17 22 24 「リアリズムの宿」 「座頭市物語(最新太郎版)」
10 12 「11'09'01/セプテンバー11」			
10 13 市立図書館+コミュニティシネマ山口共同上映「チョムスキー9.11」		10 11 「藤野行(わらびのこう)」 ※スタジオA	
6 「ある歌い女の思い出」	27 「オー・ブラザー」	4 「アム・アイ・ビューティフル?」	18 「靴の行方」 25 「アフリカ/野生のセレンゲティ」
4 5 11 12 18 19		9 10 16 17 23 24	
上映中 「ラヴァーズ」	9月下旬		
上映中 「リディック」	~未定		
9月上旬 「トゥー・ブラザーズ」	~未定		
4 「ヴァン・ヘルシング」	~未定		
上映中 「NARUTO」	9月中旬	9月中旬	10月下旬
上映中 「スパイダーマン2」	9月下旬		
上映中 「NIN×NIN 忍者ハットリ君」	1	2 「感染/予言」	~未定
上映中 「ラヴァーズ」		9 「デビルマン」	~未定
4 「ヴァン・ヘルシング」	10月上旬		
11 「仮面ライダー ブレイド」	8		
11 「バイオハザード2」	10月中旬		
11 「ビレッジ」			10月下旬
18 「アイ、ロボット」			11月上旬
上映中 「劇場版NARUTO-ナルト-大活劇!雪姫忍法帖だってばよ!!」	1 2	29	
12 西京シネクラブ 親と子の楽しい映画会「それいけ!アンパンマン 夢猫の国のニャニィ」			
☎西京シネクラブ/083-928-2688			
17 18 西京シネクラブ9月例会「かげろう」		22 23 西京シネクラブ10月例会 上映作品「未定」	
☎西京シネクラブ/083-928-2688		☎西京シネクラブ/083-928-2688	

掲載内容は8月1日現在のものです。変更の場合がありますので、ご了承ください。入場料は前売り価格(税込)です。当日は料金が異なる場合がありますので、ご確認ください。
 [略号一覧] ☎:問い合わせ先 料金につきましては、各連絡先へお問い合わせください。

催物名	時間	入場料(円)	問い合わせ
平田オリザ講演会	14:00~	500	山口情報芸術センター ☎083-901-2222
第1回「まち」=「大学」全国サミット サミット会議	10:00~11:30	無料	「まち」=「大学」全国サミット事務局 ☎083-925-2300
映画「藤野行(わらびのこう)」講演会	13:20~14:00	一般・大学生1200	西京シネクラブ ☎083-928-2688
レクチャー「全方位カメラとパラレル・リアリティ」講師:藤嶋正樹	13:00~14:30	無料(先着80名)	山口情報芸術センター ☎083-901-2222
映画上映専門家養成講座「シネマ・マネジメント・ワークショップ」	折込ページ参照	1500(3日間)	
エジンバラ・山口2004	10:30~18:45(土日)	無料	山口大学人文学部美学美術史研究室 ☎083-933-5234
シアターマネジメント講座 講師:太下義之(UFJ総合研究所)	14:00~	一般500 学生300(要申込)	山口情報芸術センター ☎083-901-2222
第19回西京高校文化祭	12:30~16:30	無料	山口県立西京高校(田中) ☎083-923-8508
第1回「まち」=「大学」全国サミット セレモニーほか	15:00~	無料	「まち」=「大学」全国サミット事務局 ☎083-925-2300
山田洋次の講演と映画会	13:30~18:00	無料	旧制山高85周年記念事業実行委員会(村田) ☎083-925-2481
三遊亭歌之介独演会	18:00~	2000	あいお文化倶楽部事務局 ☎083-984-2053

掲載内容は8月1日現在のものです。変更の場合がありますので、ご了承ください。入場料は前売り価格(税込)です。当日は料金が異なる場合がありますので、ご確認ください。

クリエイティブ・スペース赤れんが

「GOD BLESS ジャズコンサート」

2004年9月11日(土) 18:30開場/19:00開演
会場:クリエイティブ・スペース赤れんが ホール2

ピアノ、ベース、ドラムス、ボーカル、そしてアルト・サクソの5人で編成された山口市内唯一のアマチュアのJAZZ BANDであるGOD BLESSが、“My funny Valentine”などスタンダードジャズを中心に演奏します。

[料金] 前売 ¥1,000 当日 ¥1,200



絵画展「藤崎恒頼」展

2004年10月20日(水)～24日(日) 9:00～17:00 (最終日は16:00まで)
会場:クリエイティブ・スペース赤れんが ホール1

画業30年、自然と闘う力強い生命感と生活感の中に人間の深さを表現する油彩画家、藤崎恒頼のこれまでの受賞作・代表作、さらに新作を合わせ、大作ばかり10点程度を展覧します。

[料金] 無料

[問い合わせ] クリエイティブ・スペース赤れんが TEL.083-928-6666



中原中也記念館

企画展「文学サロンとしての酒場」

2004年10月14日(木)～2005年1月23日(日) 9:00～18:00 (最終入館は17:30まで)
会場:中原中也記念館 ※11月以降17:00まで(最終入館は16:30まで)

文学サロンとは、詩人、小説家、評論家といった文学者やその周辺にいた人物たちが、文学をめぐる談話に華を咲かせた集まりやその場所のことをいいます。中心となる人物に行きつけの酒場などがあると、自然にそこが文学サロンと化していきました。中原中也が多くの文学者と交遊したことは知られていますが、交遊の場として酒場が選ばれることも多かったのです。はたして中也は、酒を酌みかわしながら、どんな文学者たちと、どんな議論をたかかわせていたか、また、それは中也の詩にどのように反映しているのか。そのような視点から、中也がそこにいた、文学サロンとしての酒場を紹介します。

[問い合わせ] 中原中也記念館 TEL.083-932-6430 <http://www.chuyakan.jp/>

山口情報芸術センター

映画上映専門家養成講座

「シネマ・マネジメント・ワークショップ」

2004年9月25日(土) 11:00～21:00/26日(日) 11:00～17:45

公開上映:9月24日(金) 14:00～/18:30～ 「丹下左膳餘話百万兩の壺」(1935)

会場:山口情報芸術センター スタジオC

自主上映や映画祭、上映を軸とした文化活動を行いたいと考えている方を対象に、専門家や実例を通して、公共的な映画上映の現状と理念、企画の立て方、映画上映のための法律や技術の基礎知識を学ぶ集中講義です。各講座や講師との交流会等を組み、最終的に映画上映を立案します。

[講師] 村山匡一郎(映画評論家)/堀越謙三(ユーロスペース代表)/とちぎあきら(フィルムセンター)ほか

[参加費] 3日間¥1,500(要申込) 24日上映のみ¥500 [定員] 25名 原則、通して参加できる方

[申し込み・問い合わせ] 山口情報芸術センター TEL.083-901-2222

情報を募集しています

情報誌「any」では山口市内で行われる展覧会、公演等様々なジャンルの情報を募集しています。

[送付先] (財)山口市文化振興財団 any information 係

TEL、FAX、またはe-mail (anyinfo@yccfp.or.jp) でお申し込みください。(締切は奇数月の25日まで)

財団主催・共催公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団 チケット予約電話

TEL.083-920-6111

(受付時間 10:00~19:00) ※火曜休館(祝日の場合は翌日)

【取り扱いプレイガイド】 (山口市)山口市民会館、山口南総合センター、クリエイティブ・スペース赤れんが、OK劇場AVセンター、三好産レコード館、山口十字堂楽器店、DISC BOX、Saudade Life、【防府市】アスピラート、【阿知須町】サンパークあじす、【周南市】周南市文化会館、五津松下百貨店、【宇部市】宇部井筒屋、【その他】ローソンチケット、他
※公演により取り扱いプレイガイドが異なります。
詳しくは左記予約電話へお問い合わせください。

■友の会「any」(エニー)会員の方

会員先行予約日から上記予約電話および山口情報芸術センターチケットカウンターにて先行予約ができます。

■一般のお客様

プレイガイド発売日から上記予約電話、山口情報芸術センターチケットカウンター、上記のプレイガイドで購入できます。

■A席割引について(対象は山口情報芸術センター公演のみ)

エニー会員、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障害者及び同行の介護者1名が対象。山口情報芸術センター、山口市民会館、山口南総合センターのみの販売となります。エニー会員証、年齢の分かるもの、障害者手帳等をご提示ください。

託児サービスのご案内

山口市文化振興財団では、託児サービスを行っております。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。お子様の食事は事前に済ませておいてください。

■公演開催時 ※公演によっては行わない場合もございます。事前にお問い合わせください。

【対象】 0才以上

【料金】 お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

【託児時間】 開演の30分前から終演後30分まで

【申込方法】 開催1週間前までに山口市文化振興財団託児係へお電話でお申し込みください。

■山口情報芸術センター キッズスペース

【対象】 1才以上

【料金】 1人につき30分150円

【託児時間】 13:00~17:00(山口市立図書館休館日を除く) 1回2時間まで

【申込方法】 当日山口情報芸術センター1F事務局にお申し込みください。

満員の際は順番制となります。

any(エニー)会員募集

当財団友の会「any」では会員を募集しています。山口市民会館や山口情報芸術センターなどで行う公演の優先予約や割引など、いろいろなサービスが受けられます。ぜひ、ご入会ください。

【年会費】 学生会員1,000円、個人会員3,000円、家族会員5,000円、団体会員20,000円

【会員期間】 入会日より1年間

【会員特典】 チケットの先行予約、チケットの割引購入、情報誌の無料定期購読、公演・上映会等無料招待、山口情報芸術センター内レストランでのご優待、「コミュニティシネマ」チケットプレゼント、提携店での割引など

【お申し込み】 詳しい案内を送付いたします。チケット購入時の同時入会も可能です。TEL、FAX、またはe-mail(any@ycfcp.or.jp)でお問い合わせください。

※山口市文化振興財団のホームページオープンにともない、メールアドレスが変更になりますのでご注意ください。



【お問い合わせ】

財団 法人 **山口市文化振興財団**

Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

〒753-0075 山口市中国町7-7

TEL. 083-901-2222 FAX. 083-901-2216

zaidan-info@ycfcp.or.jp http://www.ycfcp.or.jp

【ars nova】(アルス・ノヴァ;ラテン語)14世紀の音楽史用語で「新芸術」の意



財団
法人 山口市文化振興財団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion



Campagne
Phillipe
Genty